



持入

特別
A5
6590
181



得



是ハ唐古ウ孫ニ山本林若居ウ此ノ里ニ
 周ト申民トシ我親ト存アル志アリ也
 吾軟不思漢ノ羨ト見レ居ウ此レ市ノ出
 酒ト仰リ賣ルハ苗貴乃家ト成ルト
 羨ノ若ク形ト業ノ時ト申来ウ亦小也
 次申ク小苗貴乃身ト為ルハ又喜不思

星

波成事はれき子のこと成るの一人来れり
流と買ふ飲いり壺を回せとも面をかきり
夏の新し味は不審ふ思ひ名成りくいと海
中よ何様くと名乗壺をいされ海中へ今
行ふ志ん存うのいよを出海成りく彼様と
お納もやと存い 志ん存り此の意とて
菊ときくと秋りいり月乃あまも友まわ

又傾る壺の秋ときくと納存りく
老せぬや〜薬の名も菊乃水さうは
ううひ物と友よをそ嬉しきまこと友よをそ
嬉しに みきと周く 志ん存り此の意とて
風の 菊もいさ〜 志ん存り此の意とて
〜 理りやに来れ〜 志ん存り此の意とて
めて酒をいさ〜 志ん存り此の意とて
梅人をけ〜

月星ハく輝也如

所を志ん居る志

碎の月乃酒を

樽を志まりよ

蕙乃葉の節をうさ

波の鼓とうも

夜沈まらる浦風の 杖乃調也妙い

まわらぬ也げ方ん懐朴形るふより

まゝ今をり授ふ形りよをを

まその竹乃葉の酒汲とも巻込のめとをわ

ぬ秋乃秋の盃氣をうさう入はは枯きらあ

りといふあくとよりり外きる杖は葉のさむ

と抑りんと泉ハも徳盡せぬ為るそ同初

あはれ

下掛謠本者寶永之初上梓以來雖頒行
於世其誤不少欲改正之不得止本久而
不測羅明和之災梓乃灰燼今也幸得專
門之佳本悉加改正再命剞劂庶幾廣之
萬世云

安永五丙申歲

東都書林

日本橋新右衛門町

戶倉屋喜兵衛

日本橋通書町日

須原屋茂兵衛

